

Alfano Pro new ユーザーズマニュアル

前書

お買い上げありがとうございます。Alfano は、機能とデザイン、両方を重視して分かり易いという基本の下、製作されています。Alfano を使用することでカートレースをより楽しんだり、あなたの実力をアップさせることが出来るでしょう。

特徴

全く新しいデザイン

独創的な大型ディスプレイ

3区間の区間タイムを測定 (マグネット又はトランスミッターが2~3区周設定されている場合)

最大 26,000 回転まで測定可能

ベストタイム、ベストタイムディファレンス、周回数、周回時間等の表示

エンジンのランニングタイム測定(5基まで別々に管理)

座温・水温測定、警告(水温時最高 127)

赤外線にて PC へのデータのダウンロード及び解析

目次

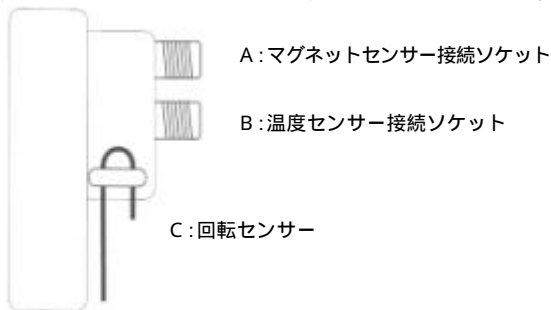
1. 本体の説明と取り付け	2
前面	2
背面	2
Alfano 本体の取り付け	2
マグネットセンサー取り付け	2
回転計センサー取り付け	2
温度センサー取り付け	2
電池取り付け	2
2. 操作形式	3
電源 ON	3
START モード	3
STOP モード	3
レコードラップ中のベストタイムと最高回転	3
電源 OFF (オートパワーオフ)	3
3. 表示	3
A. ラップタイマー	3
B. 回転計	4
C. ベストタイム表示	4
D. 最高回転数表示	4
E. エンジン温度	4
F. エンジン温度警告	4
G. エンジンランニングタイム	4
H. エンジン番号	4
I. トータルタイム	4
J. セッションカウンター	4
K. ベストタイムディファレンス	4
L. ラップ数	4
4. 設定と表示	5
メニュー1	5
メニュー2	6
設定フローチャート	7
5. 安全のしおり	8
6. 磁石が埋設されているコース	8
7. 機能の変更	8
8. 保証	8
9. NEW OPTION	8

取り扱い説明

基本モードでの取り扱い

本体は、ステアリングに取り付けられ、2つの赤いプッシュボタンによって操作します。最も重要な機能は、タイム測定、回転計、電気式温度計です。本体から、接続されたセンサーによって計測、記録することができます。

図 2



1. 本体の説明と取り付け

前面 (図 1 参照)

本体は、ディスプレイ、2つの赤いプッシュボタン、左(1)、右(2)、更にPCに赤外線でデータを送るための小さなランプ(M)を持っています。(各々の機能については、2章で説明)

背面 (図 2 参照)

センサー接続部分と電池区分があります。上部の接続ソケット(A)は、タイム測定のための磁石センサーのものです。下部の接続ソケット(B)は、温度測定のためのセンサーのものです。

下部左には、穴(C)があり、点火プラグへ行くケーブルを巻き付ける(引っ張って切らないため)部分です。(B)ソケットを使用しない場合は必ずラバーキャップを被せておいて下さい。

Alfano 本体の取り付け

2つの赤いラバーをステアリングスポークの両側に付け、黒いプラスチックをステアリングスポークと機器の間に取り付け、付属のM8ナットで、固定します。

注意：本体にダメージを与えないために、本体の裏側が直接ステアリングに触れないようにしてください。

マグネットセンサー取り付け

マグネットセンサー(タイム測定センサー)は、カートの縦軸に沿って、フロアパネルにM6ネジで取り付けして下さい。

回転計センサー取り付け

プラグコードと本体の図 2(C)の凸所をケーブル接続してください。プラグ側は同梱のスパイラルチューブで、プラグコードに巻き付けて下さい。(このケーブルによって回転信号は、計測されます)

温度センサー取り付け

センサーは、温度測定の結果を確実にするために、エンジンの方に調査針を向けるように取り付けして下さい。(センサーを覗いた時調査針がみられるはず)です)

水温を測定できるのは水冷エンジンのみです。温度は、冷却液のパイプに挿入された調査針によって計測されます。

電池取り付け (CR2450)

電池交換は、本体の裏側にある電池ホルダーの2つのネジをゆるめて古い電池を取り外し、新しい電池を入れるときは、(+)が、電池ホルダーのカバー側に来るように取り付けして下さい。そしてカバーを取り付けてください。

注意：ホルダーと機器が合わさる位が、締め付けのポイントです。ネジ山が壊れるようなネジの締めすぎは、避けてください。

電池を交換したときは、リセットして下さい。(2つの赤いボタンを2秒間押す)

使用電池は、CR2450です。

2. 操作形式

電源 ON

2つの赤いボタンを同時に2秒押すと、ディスプレイに初期画面 STOP モードが表示されます。ボタンを押している間不可解な表示が現れるかもしれませんが、異常ありません。ボタンを放せば通常の表示が現れます。この操作は、電池を交換したときや、Alfano がエンジンの障害などで不安定なときにも行います。

START モード

Alfano は、例外時を除いて電源投入時は、STOP モードです。この状態の時、磁石と反応すると、START モードに変わります。

注意：ディスプレイに START という文字は表示されません。

STOP モード

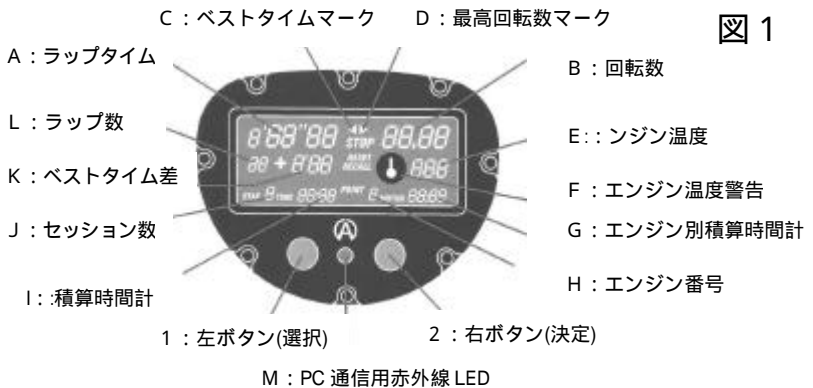
左ボタンを押すか、コースにある磁石と5分以上反応しなければ、STOP モードに戻ります。

レコードラップ中のベストタイムと最高回転

STOP モード中に、右ボタンのみ操作する専で、2秒間表示されます。

電源 OFF(オートパワーオフ)

走行を止めて、エンジン(RPM)ケーブルを接続している場合を止めて10分すると自動的に電源 OFF になります。



3. 表示 (図 1)

A : ラップタイマー

START モード

同じ磁石を2回通過することで、毎週のラップタイムを表示します。次のラップまで1/100秒の単位で表示します。

STOP モード

最終週のタイムを表示します。

RECALL モード

最速タイムを表示します。

RECALL モード区間タイム

コース上に2、3の磁石がある場合、ラップタイムの下にラインで表示され、各々の区間タイムが表示されます。RECALL モード時のみ表示されます。

B：回転計

START モード

2種類の表示をメニューより選びます。

M：MAXIMUM：各周回での最高回転数を表示します。次のラップまで表示は固定されます。

D：DIRECT：リアルタイムでエンジン回転数を表示します

RECALL モード

ラップ毎の最高回転が、他の情報と共に表示されます。

C：ベストタイム表示

ファステストタイムがでるとラップタイムの右横に矢印が現れ、次の情報まで表示されています。

D：最高回転数表示

最高回転数がでると回転数の左横に矢印が現れ、次の情報まで表示されています。

E：エンジン温度

START、STOP モード

温度計の温度を直接記録して0.4秒ごとに表示します。最高測定温度は、127

RECALL モード

ラップ毎の最高温度を記録しています。

F：エンジン温度警告

設定温度を超えると黒い大きな円が現れます。

G：エンジンランニングタイム

最大5基のエンジンのそれぞれのランタイムを時間と分で積算していきます。

メニュー2でエンジン番号を選び、カウンターをリセットしてエンジンランニングタイムを0にします。エンジン番号はHに表示されます。選択されたエンジンランニングタイムカウンターは、点火ケーブルからの信号によって途切れなく積算されます。START、STOPモードは問いません。

H：エンジン番号

幾つかのエンジンを使用する場合に設定します。エンジンを交換したら他のカウンターを選んでください。Alfanoは、5つカウンターを持っています。

I：トータルタイム

時間と分でトータルタイムを表示します。

J：セッションカウンター

ここには、ピットから出た回数が表示されます。

システムが“STOP”から“START”に変わった回数をカウントしていきます。

K：ベストタイムディファレンス

ここには、ベストタイムと前回のラップタイムとの差を表示します、(最大は999秒です、これを越えると表示されません)

L：ラップ数

ここには、トータルのラップ数が表示されます。

4. 設定と表示

計測結果表示は、メニュー1の5つのサブメニューで操作します。

- 1- ・ラップタイム
- 2- ・エンジン番号(5MOTOR Counters)
- 3- ・通信、印刷(PRINT)
- 4- ・リセット
- 5- ・メニュー2へ

パラメーターの設定は、メニュー2の7つのサブメニューで操作します。

- 6- ・RECALL MOTTEUR
- 7- ・回転計 (M/D)
- 8- ・エンジンタイプ (2/4)
- 9- ・モード区間タイム(1/2/3)
- 10- ・エンジン温度
- 11- ・エンジン温度警告
- 12- ・オールリセット

サブメニューを次のサブメニューに変える時は、左ボタン(1)を押す。

サブメニュー1からサブメニュー2に内容を変える時は、右ボタン(2)を押す。

詳しくは別紙 Alfano pro new の使い方を参照下さい。

メニュー 1

最初に、Alfano システムを、STOP モードにします。(電源投入初期状態)

1.左ボタンを押す：設定モード(RECALL)ラップタイム

ラップタイム

このサブメニューに移ると、すぐにそのほかの情報と一緒に最速ラップが表示されます。確認のために、小さな矢印がタイムの横に表示されます。その時右ボタンを押すと1周目からのラップがその他の情報と一緒に表示されます。

区間タイム表示の方法(区間設定をしている時のみ)

A.右ボタンを押す間隔が3秒以下の場合、ラップタイムのみを表示して、区間タイム表示はされません。

B.右ボタンを押す間隔が3秒以上の場合、区間タイム表示のモードに移行します。

(例)

右のボタンを短押し(間隔3秒以下)で押して22ラップ目のタイム表示にきた時、3秒以上右ボタンを押すと、このラップの区間表示が始まります。22ラップ目のタイムが3秒間表示された後、自動的にこのラップの最初の区間タイムが2秒間表示されます(タイムの下の左に棒が表示されます)。その後、2区間目のタイムが2秒間表示されます(タイムの下の真中に棒が表示されます)。3区間測定の設定の場合は、その後3区間目のタイムが表示されます(タイムの下の右に棒が表示されます)。区間タイム表示の後、再び22ラップ目のタイム表示に戻ってきます。このとき棒は表示されず、3秒間表示されます。この表示サイクルは、ボタンが押されるまで120秒間繰り返されます。ボタンが押されないうまま120秒過ぎるとシステムはSTOPモードに戻ります。この120秒の間に左ボタンを押すとこの22ラップ目の区間タイム表示のサイクルは、止まり、次のラップ(23ラップ目)のタイムが表示されます。

タイム表示のスクロール順序

22ラップ目のタイム

最初の区間タイム

2区間目のタイム

3区間目のタイム

繰り返し

2.左ボタンを押す：設定モード(-2-)エンジンランニングタイムのカウンター設定
5つまで測定できます。それぞれのエンジンのランニングタイムを時間と分で表示します。
右ボタンでカウンターを選択してください。右ボタンの長押しで、カウンターは0にリセットされます。

3.左ボタンを押す：設定モード(-3-)PRINT

このモードで右ボタンを押すとシステムは、記録しているデータの赤外線ダウンロードを始め、システム自身のシリアル番号を表示します。ダウンロードキット(ソフトウェア添付)は、別売りです。

4.左ボタンを押す：設定モード(-4-)RESET

このモードで右ボタンを押すとアニメーションが始まり走行データがRESETされます。RESETは、設定やエンジンランニングタイムには、作用しません。

5.左ボタンを押す：設定モード(-5-) STOP モード(初期画面)

このモードで右ボタンを押すとメニュー2に移行します。

メニュー 2

1.そのまま：設定モード(-6-) RECALL MOTTEUR エンジン回転数表示

設定されている回転数の使用時間を見ることが出来ます。時間あたり回転数は31区切り(レベル)に分けられて表示されます。一つの区切り(レベル)は、640回転で5,120回転から測定されています。

2. 左ボタンを押す：設定モード(-7-)回転計 (M / D)

右ボタンでMかDを選択します。

M=MAXIMUM : 各周回での最高回転数を表示します。次のラップまで表示は固定されます。

D=DIRECT : リアルタイムでの回転数を表示します。

3.左ボタンを押す：設定モード(-8-)2 サイクルエンジン又は4 サイクルエンジンの設定(単気筒)

右ボタンで2サイクルか4サイクルかを選択します。

YZ80は24を選択します。(パルスの出力方式が違うため)

注意：間違った設定をすると誤作動します。

4.左ボタンを押す：設定モード(-9-)区間(1 / 2 / 3)センサー数の設定

右ボタンでコースに設置されているセンサーの数を選択します。

区間タイムを表示するには、センサーの数が2,3が設定されて、RECALLモードの時、表示できます。

この数値を変更して、STOPモードに戻ると、システムは自動的にRESETされます。

注意：間違った設定をすると誤作動します。

5. 左ボタンを押す：設定モード(-10-)温度設定

1・2・Fから選びます。 / Fは摂氏と華氏を表します。この場合 を選びます。1/2は設定範囲です。水温などは1、座温センサーなどは2を選びます。

6. 左ボタンを押す：設定モード(-11-)温度警告設定

右ボタンで警告温度を設定してください。押し続けていると数値はスクロールします。

右ボタンを押し続けているとカウンターは0にリセットされまたスクロールします。

7. 左ボタンを押す：設定モード(-12-)オールリセット

何か問題が起きたときや、全てのデータをクリアしたいときは右ボタンを押せば工場出荷状態(オールリセット)されます。

メニュー1の間、左上に大きくシリアル書号が表示されています。

あるメニューの時、120秒以上ボタンが押されない場合、システムは自動的にSTOPモードに戻ります。

設定フローチャート

電源ON : STOPモード(初期画面)

左ボタン1回 : (RECALL)ラップタイム

右ボタン1~98回 : ラップタイム表示(L1~L98まで順次)

右ボタン長押し : 区間タイム表示モードに移行

左ボタン2回 : (-2-) エンジンランニングタイムのカウンター設定

右ボタン1~5回 : カウンター選択 (1~5まで)

右ボタン長押し : カウントタイムリセット

左ボタン3回 : (-3-) PRINT

右ボタン1回 : データの赤外線ダウンロード開始

左ボタン4回 : (-4-) RESET

右ボタン1回 : 走行データリセット

左ボタン5回 : (-5-) Conf Syse

右ボタン1回 : (-6-) RECALL MOTTEUR エンジン回転数表示 (メニュー2に移行)

左ボタン1回 : (-7-) 回転計設定 (M/D)

右ボタン : M/D選択

左ボタン2回 : (-8-) 2サイクル/4サイクル設定 (単気筒)

右ボタン : 2/4選択

左ボタン3回 : (-9-) 区間設定 (1/2/3)

右ボタン : 1/2/3選択

左ボタン4回 : (-10-) 温度設定 (1・2・1F・2Fから選択)

右ボタン : 1・2・1F・2F選択

左ボタン5回 : (-11-) 温度警告設定

右ボタン : 警告温度を設定

右ボタン長押し : リセット

左ボタン6回 : (-12-) オールリセット y/n

右ボタン : オールリセット(工場出荷状態)

右ボタン2~98回 : ラップタイム差表示(L1~L98まで順次)

左ボタン6回 : STOPモード(初期画面)

5. 安全のしおり

Alfanoの取付は、機器に損傷を与えないために、ステアリングホイールと本体が接触しないように注意して下さい。電池交換は、ネジを締めすぎないように注意してください。蓋と本体が接触するくらいが適切な締め具合です。本体を絶対閉鎖しないで下さい。1度でも開封した場合は保証の対象外となります。もし電氣的な接触がなかったとしても、防水性や機能について保証することは出来なくなります。激しい雨においても、正常に機能するために防水保護されています。もし水が浸入した場合、即座に磁石からの信号を受け取ってエンジン温度の所に危険を表示します。システムが再び機能するためには、乾燥させて下さい。

6. 磁石が埋設されているコース

有限会社栄光ホームページをご覧ください。 <http://www.eikoms.com/item/alfanocircuit.htm>

7. 機能の変更

製品の内容、機能は、改良のため予告なく変更される場合があります。

8. 保証

製品は、レースでの使用を前提としております。衝突に起因する全ての電氣的な破損、本体の破損、ケーブル類の破損は、保証の対象外です。同様に本体を開封すれば保証の対象外となります。製造者は、万一の時の損傷や欠陥における明らかな責任の時のみ保証を受付ます。保証は、製造者の出荷日より1年間とします。

9. NEW OPTION

このソフトウェアは、コース上において6'36"80の間0.2秒ごとにエンジン回転を記録できるようになっています。これにより、様々なエンジン回転数、加速度、車速の情報を提供することが出来ます。

RECORD0モードのセットの方法

まず最初に“ベストタイム、最高回転数”のポジションにAlfanoをセットしてください。

マニュアルの2.操作形式の項を1参照、表示は、2秒間続きます。

この2秒の間に左ボタンを押すと新しい機能がスタートします。

RECOED(rec)

右ボタンを押すと記録が始まります。ディスプレイの左上のカウンターは、0から始まり、STOP表示が消えます。もし右ボタンを記録中にもう一度押せばシステムは再び0から記録を始めます。

STOPモードへ(記録終了後)

1.メモリー一杯(カウンターに6'36"80と表示)になれば、システムは自動的にSTOPモードに変わります。

2.左ボタンを押せば、システムは、STOPモードに変わり記録を中止します。

PCへのダウンロード

STOPモードの時、左ボタンを押すと、シリアル番号と共に“FRNT”が表示されます。続けて右ボタンを押します。

RECORDモードの終了とSTARTモードへの復帰

いつでも、二つのボタンを同時に2秒間押せばSTARTモードに戻ります。

付記

この新しい機能で動作しているとき、全てのメモリーが空になるのでシステムは全ての記録していたデータを失います。同様に、全ての記録データは、RECORDモードを終了すると消去されます。但し、設定やエンジンランニングタイムは、消去されません。

RECORDモードにおいて、回転数リアルタイム表示、エンジンランニングタイム、エンジン番号、エンジン温度、エンジン温度警告灯は、動作します。